



小林一喜 議員

里山の整備保全とその資源活用は

答 森林を荒廃させないため努力していく

問

県が導入を目指している森林環境税、仮称「ぐんま緑の県民税」に対する見解は。

答

町長 新たな負担を求める訳であり、徴

問

取開始時の普及方法や税金の使い道の説明について配慮を要請している。

問

水源涵養林としての保全対策は。

答

産業建設課長 生活環境基盤と林産物の

多面的機能を有している。森林を荒廃させないため努力していきたい。

問

屋敷内での荒廃が目立つ竹林の整備は。

答

産業建設課長 所有者による管理が基本である。

問

竹林を生かした観光政策は。

答

産業建設課長 観光資源として生かせる

具体的な場所や地域ぐるみの活動があれば情報提供してほしい。

問

竹の特性を資源として活用は。

答

産業建設課長 竹酢液や竹炭など知られて

いる。事業に取り組むには検討を要する。事例などの情報を提供してほしい。

問

大樹町との物的交流に生かせないか。

答

町長 北海道に竹は自生しないといわれ

る。今後、農・商・工が連携した物産交流を進めていく過程で取り入れることを検討したい。

問

バイパス開通後の県道26号線に、歩道設置を。

答

町長 交通の流れを見守り、設置要望も

含め交通対策と第3期工区の早期完成を強くお願いしていく。

問

老朽化の諏訪橋架け替えは。

答

町長 幅員も狭く、架設年次も不明である。点検作業を精査し「橋

梁長寿命化修理計画」にもとづいて計画を立て、安全性を確保したい。



整備が待たれる竹林

第3期工区の早期完成を願う

高渋バイパス第2期工区開通後の課題は



開通した高渋バイパス（上野田～小倉地内）



小池春雄 議員

子育て支援の今後の施策は

答 次世代育成支援計画をもとに進める

問 まちの発展策とともに進める子育て支援策に、どのような見解を持っているか。

答 町長 道路や環境の整備と併行して、「子育て、夢育てNo.1のまち吉岡」を目指す。

問 さらなる発展のために考えられる子育て支援の今後の施策は、どのようなものがあるか。

答 町長 多くの若い人に移り住んでもらい、日本一を目指している。第3子の保育料を無料にするべきであると思うが。

問 「地域で支援」の3点を基本に、次世代育成支援計画を進める。

答 町長 「子どもの自立」「楽しい子育て」

問 出生率が日本一になる施策はあるのか。

答 町長 保育料は抑えており、当面は考えていない。

体罰・いじめ問題の対応は

組織全体で協力して対応する

問 過渡期に来ている体罰・いじめ問題の今後の対応を問いたい。

答 町長 三校の児童・生徒・保護者にアンケート調査をしている。

問 教育長 学年主任、指導主任、部活動顧問、スクールカウンセラー、教頭、校長など組織全体で一致協力して対応する。

問 現在におけるまちの対応は。

答 町長 歴史性を損なわず、平常時は憩いの場、災害時は防災機能を持つ公園として整備する。

問 であるべきと思うが。

答 町長 古墳は保存、平常時は多目的広場、緊急時は避難広場、施設は併用して使用する。



まちの子育て支援センター（第4保育園隣り）



子育て、夢育てNo.1を目指して（ふるさと祭り）